

- Richards, O. W. & N. Waloff, 1961. A study of a natural population of *Phytodecta olivacea* (Forster) (Coleoptera, Chrysomeloidea). Phil. Trans. R. Soc. London, Ser. B (Biol. Sci.), 244:205-257.
- * Scherf, H., 1966. Beobachtungen an Ei und Gelege von *Galeruca tanacetii* L. (Coleoptera, Chrysomelidae). Biol. Zentralbl., 85: 7-17. [After Hilker (1994)]
- Siew, Y. C., 1965. The endocrine control of adult reproductive diapause in the chrysomelid beetle *Galeruca tanacetii* (L.) - II. J. Ins. Physiol., 11: 463-479.
- Siew, Y. C., 1966. Some physiological aspects of adult diapause in *Galeruca tanacetii* (L.) (Coleoptera: Chrysomelidae). Trans. R. ent. Soc. Lond., 118: 359-374.
- Spett, G. & M. Lewitt, 1926. Versuch einer Verwertung des Receptaculum seminis als systematisches Merkmal bei den Chrysomeliden. Arch. Naturgesch., 1926: 96-142, Taf. I-VI.
- 住友宏幸・廣田忠雄, 2012. ヒラタシテムシ亜科における触角噛み行動の役割. 日本生態学会第59回全国大会講演要旨 (ポスター発表 P2-280J).
- Suzuki, K., 1974a. Phylogeny of the family Chrysomelidae based on the comparative morphology of the internal reproductive system (Insecta: Coleoptera). Ph.D. Thesis, Tokyo Metropolitan Univ., 186 pp., 66 Pls.
- Suzuki, K., 1974b. Ovariole number in the Family Chrysomelidae (Insecta: Coleoptera). Jour. Coll. Lib. Arts, Toyama Univ. (Nat. Sci.), (7): 53-70.
- Suzuki, K., 1975. Variation of ovariole number in *Pseudodera xanthospila* Baly (Coleoptera, Chrysomelidae, Alticinae). Kontyû, Tokyo, 43: 36-39.
- Suzuki, K., 1988. Comparative morphology of the internal reproductive system of the Chrysomelidae (Coleoptera). In Jolivet, P., E. Petitpierre & T. H. Hsiao (eds.) Biology of Chrysomelidae. (xxiv + 615 pp.): 317-355. Kluwer Academic Publ., Dordrecht/Boston/London.
- Suzuki, K. & A. Hara, 1975. Supplementary report on the ovariole number in the family Chrysomelidae (Insecta: Coleoptera). Jour. Coll. Lib. Arts, Toyama Univ. (Nat. Sci.), (8): 87-93.
- Suzuki, K. & A. Hara, 1976. Comparative study of the egg size in relation to egg number in the family Chrysomelidae (Insecta: Coleoptera). Jour. Coll. Lib. Arts, Toyama Univ. (Nat. Sci.), (9): 39-81.
- Suzuki, K. & K. Yamada, 1976. Intraspecific variation of ovariole number in some chrysomelid species (Coleoptera, Chrysomelidae). Kontyû, Tokyo, 44: 77-84.
- Takizawa, H., 1972. Descriptions of larvae of glanduliferous group of Galerucinae in Japan, with notes on subdivisions of the subfamily (Coleoptera: Chrysomelidae). Insecta Matsumurana, Supplement, 10: 1-14, 8 Pls.
- 滝沢春雄, 1994. 幼虫篇. 木元新作・滝沢春雄『日本産ハムシ類幼虫・成虫分類図説』(xvii + 539 pp.): 365-513. 東海大学出版会, 東京.
- 滝沢春雄, 2011. 日本産ハムシ科生態覚書 (5). 神奈川虫報, (173): 35-51.
- 滝沢春雄・小宮義璋, 2006. 北海道で発見されたオオアラメハムシ属の未記録種 - スミイロオオアラメハムシ. 月刊むし, (419): 18-20.
- Tallamy, D. W., 2004. Mate choice after intermission in spotted cucumber beetle. In: Jolivet, P., J. A. Santiago-Blay & M. Schmitt (eds.) New Developments in the Biology of Chrysomelidae (XX + 803 pp.): 709-720. SPB Academic Publishing bv, The Netherlands.
- Warchałowski, A., 2010. The Palaearctic Chrysomelidae - Identification keys. Vol. 2. Pp. 629-1212, 102 Pls. Natura optima dux Foundation, Warszawa.
- Wilcox, J. A., 1971. Coleopterorum Catalogus Supplementa. 78(1) (2nd ed.). Chrysomelidae: Galerucinae (Oidini, Galerucini, Metacyclini, Sermlylini). ii + 220 pp. Uitgeverij Dr W. Junk's-Gravenhage.
- Yang, X.-k. & P.-y. Yu, 1994. Morphological adaptations to high altitude in *Galeruca* species of China (Coleoptera: Chrysomelidae). In: Furth, D. G. (ed.) Proceedings of the Third International Symposium on the Chrysomelidae Beijing, 1992. 150 pp.: 102-115.
- 湯嶋 健, 1976. 『昆虫のフェロモン』 viii + 166 pp. 東大出版会, 東京.

(2016年3月1日受領, 2016年6月19日受理)

【短報】チュウジョウヒゲナガハムシの追加記録と食草について

チュウジョウヒゲナガハムシ *Galerucella chujoi* Komiya は北海道のサロベツ原野から得られた標本を基に記載された種であり, これまで追加記録がなく食草や生態についても不明であった (Komiya, 2005; 滝沢, 2011). 筆者らは釧路湿原と利尻島で採集された標本を得ているので, 追加記録として報告する. また, 食草としてヤナギトラノオ *Lysimachia thyrsoiflora* L. を確認したため, 併せて記録する.

6 exs., 北海道標茶町五十石, 24. VI. 2007, 吉富博之採集・末長保管 (図1).

35 exs., 北海道利尻富士町南浜湿原, 8. VI. 2011, 安藤祐介採集・末長・南保管.

45 exs., 北海道利尻富士町南浜湿原, 1-5. VI.

2012, 安藤祐介採集・末長保管.

6 exs., 北海道釧路市美濃, 1. VII. 2012, 末長採集・保管.

釧路市美濃のものは湿地内のヤナギトラノオを後

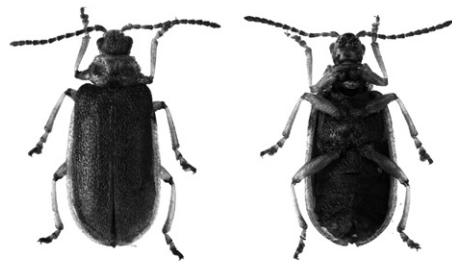


図1. チュウジョウヒゲナガハムシ (左: 背面; 右: 腹面).

食しているところを採集したものである。また、南浜湿原のものも採集者の安藤氏によると湿地のヤナギトラノオのみを食害していたとのことであり、筆者のひとりである末長が2012年8月2日に実際に南浜湿原を訪れた時は、成虫は見られなかったものの多数の食痕が残っているのを確認している。

末筆ながら、貴重な標本をご恵与下さった愛媛大学ミュージアムの吉富博之博士と三笠市の安藤祐介氏に厚くお礼申し上げる。

引用文献

- Komiya, Y., 2005. Description of a new species of the genus *Galerucella* (Coleoptera, Chrysomelidae, Galerucinae) from Hokkaido, Northern Japan. *Elytra*, Tokyo, 33(1): 95-99.
 滝沢春雄, 2011. 日本産ハムシ科生態覚書 (5). 神奈川虫報, (173): 35-51.

(末長晴輝 倉敷市老松町 3-14-33
 クリーンピア 106 号室)

(南 雅之 武蔵野市吉祥寺本町 3-17-7)

【短報】石川県におけるキボシツブゲンゴロウの初記録

キボシツブゲンゴロウ *Japanolaccophilus nipponensis* (Kamiya, 1938) は、ゲンゴロウ科キボシツブゲンゴロウ属として知られる唯一の種で(森・北山, 2002), 最新の「環境省版レッドデータブック」では準絶滅危惧 (NT) に選定されている(環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 2015)。石川県からは、これまでに40種のゲンゴロウ類が記録されている(渡部, 2015)が、本種は確認されていない。筆者は、石川県41種目となる本種を採集しているのここに報告する。なお、採集および標本の保管先は全て筆者である。

1ex., 金沢市大額町 碓川支流 (犀川水系), 18. III. 2016 (図1)。

1ex., 白山市相滝町 堂川 (手取川水系), 15. IV. 2016.

採集地点はどちらも砂の堆積した河川で、流れが緩やかな淵の水深がある場所に浸かった植物の根際から得られた(図2)。時期が悪かったのか個体数は少なく、2地点ともに1個体のみ確認に留まった。

本種は、「環境省版第2次レッドリスト」より準絶滅危惧 (NT) に指定されており(環境省自然環境局野生生物課, 2000), 全国的に希少であることや、レッドリスト掲載種として注目されやすいにも関わらず県内ではこれまで未確認であったこと



図1. 石川県産キボシツブゲンゴロウ。



図2. 本種の生息環境(碓川支流)。

などを踏まえると、石川県においても希少である可能性がある。一方で、断片的ではあるが2水系において生息が確認されたことから、より広範囲に生息する可能性も考えられ、生息状況を解明するための調査が望まれる。

引用文献

- 環境省自然環境局野生生物課, 2000. 無脊椎動物(昆虫類, 貝類, クモ類, 甲殻類等)のレッドリストの見直しについて。(2016年4月13日参照) <http://www.env.go.jp/press/1638.html>
 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 2015. レッドデータブック2014—日本の絶滅のおそれのある野生生物—5昆虫類. 509pp. 株式会社ぎょうせい.
 森 正人・北山 昭, 2002. 改訂版 図説 日本のゲンゴロウ. 231pp. 文一総合出版.
 渡部晃平, 2015. 石川県におけるコマルケシゲンゴロウの初記録. さやばねニューシリーズ, (19): 55.

(渡部晃平 920-2113 白山市八幡町戊3番地
 石川県ふれあい昆虫館)